

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【公開番号】特開 2004-254694 (P2004-254694A)

【公開日】平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報 2004-036

【出願番号】特願 2004-51056 (P2004-51056)

【国際特許分類】

C 1 2 P 13/04 (2006.01)

C 1 2 P 13/06 (2006.01)

C 1 2 P 13/08 (2006.01)

C 1 2 P 13/22 (2006.01)

C 1 2 P 13/24 (2006.01)

【F I】

C 1 2 P 13/04

C 1 2 P 13/06 C

C 1 2 P 13/08 C

C 1 2 P 13/22 A

C 1 2 P 13/24 C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 9 日 (2007.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

L - アミノ酸を生産する細菌を培地に培養し、生成および蓄積した L - アミノ酸を前記培地から回収することを含み、前記培地はグルコースおよびペントース糖の混合物を含有する、L - アミノ酸の製造方法。

【請求項 2】

前記ペントース糖はアラビノースおよびキシロースである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記糖の混合物は、セルロース系バイオマスから得られる糖の原料混合物である、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 L - アミノ酸を生産する細菌がエシェリヒア属に属する細菌である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 L - アミノ酸を生産する細菌は、ペントース糖の利用の割合が増加するように改変された、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 L - アミノ酸が L - イソロイシンである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記細菌は、L - イソロイシン生合成に関する遺伝子の発現が高められた、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 L - アミノ酸が L - ヒスチジンである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記細菌は、L - ヒスチジン生合成に関する遺伝子の発現が高められた、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 L - アミノ酸が L - スレニオンである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記細菌は、L - スレニオン生合成に関する遺伝子の発現が高められた、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

産生される前記 L - アミノ酸は L - トリプトファンである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記細菌は、L - トリプトファン生合成に関する遺伝子の発現が高められた、請求項 12 に記載の方法。